

いんぽかんだより

2026年9月1日

第270号

発行・宮ノ原隣保館

TEL 42-4620

かいたちょうふくしほけんぶ、かいたちょうしゃかいふくしきょうぎかいらいかん
海田町福祉保健部、海田町社会福祉協議会来館！

8月5日（水）、中国新聞で紹介していただいた記事「買物支援サービス」を見られた海田町の福祉保健部と社会福祉協議会の5名の方が買い物支援サービスの様子を見学されました。海田町のみなさんは積極的に参加者の方に話しかけ、感想などを聞いておられました。また、参加者の方の笑顔や支援者の支えなどを見られおどろいておられました。さらに、楽しそうしている参加者の思いなどを聞き、「安心して買い物をする姿や参加者の方と支援者と信頼関係が多くある場面で見られ、とても参考になった。」と言っていました。

昼からは宮ノ原隣保館で「買い物支援サービス」についての研修を行いました。江田島市からは、「まちづくり共生課課長」、「江田島市社会福祉協議会主任」、そして、「移動支援サービス運営協議会長」と「事務局員」（宮ノ原隣保館職員）の2名が参加しました。買い物支援サービスを始めるきっかけや予算的なことなどが主な質問でしたが、事前に質問事項を知らせていただいていたおり、参考にしたいという雰囲気の中で行われました。

これからも、頑張りたいと思えた温かい時間でした。



参加者の方に話を聞く海田町の職員さん



買い物支援サービスについての交流会

ひろ みんなの民生委員児童委員さんの協力！

7月16日（木）の買い物支援サービスで民生委員児童委員の高田さんがボランティアで参加者の方の支援活動を行っていたことを7月の「りんぽかんだより」で紹介させていただきました。この日は会計機器の入力ミスや袋詰め時に時間がかかり困ることもありました。参加者の方を支援しようとしていただく思いが伝わり、たいへん助けていただきました。そして、8月20日（木）の買い物支援サービスでは、3名の民生委員児童委員の方が参加され、買い物支援を行っていただきました。やはり、機械による会計に戸惑ったり、袋詰め時に時間がかかることもありました。丁寧な対応をしていただき参加者の方も安心されました。今回も広がる福祉の輪に喜びを感じました。

横手さん、佐々木さん、大松さん、ありがとうございました。



打合せをする民生委員児童委員



会計を支援、民生委員児童委員

じぶん や もの つく 自分だけの焼き物を作りました とうげいきょうしつ 陶芸教室！

8月2日(日)、宮ノ原隣保館で陶芸教室を行いました。
昨年度に続き、江田島焼きで有名な沖山先生を講師としてお招きをし、自分だけのオリジナル焼き物を、まず粘土で作りしました。粘土でつくった時は大きくても、乾かし、1回目に焼くと小さくなります。そして、ゆうやくを塗って焼いてみるとその様子は大きく変わります。自分だけの焼き物がイメージ通りに出来上がると、喜びも格別です。今年度は、もう1回、計画しています。



粘土で自分の作品を作っています

えたじまちょうほくせいぶいどうしえん うんえいきょうぎかい 江田島町北西部移動支援サービス運営協議会！

買い物支援サービスは、買い物をおもに日常生活に必要な移動を支援し、地域の安全安心及び福祉の向上、そして、自ら選んで買い物をすることで日常生活でさらなる自分らしい充実した人生を送ろうとする意欲を高めることを目的としています。

そこで、よりよい買い物支援サービスにするために、基本、第4木曜日に運営会議を行っています。岡野会長を中心として、宮ノ原隣保館、誠心園、そして、宮ノ原まちづくり協議会、津久茂まちづくり協議会、大幸まちづくり協議会からの役員が集まって、買い物支援について話し合いを進めています。



三者が一体となって話し合ってます

ことし みや はらちく ふくし まな だいがくせい 今年も宮ノ原地区の福祉について学ぶ大学生！

昨年度、広島国際大学の学生6名が実習のために宮ノ原隣保館を訪れました。今年も広島文化学園の学生が宮ノ原地区の福祉について学ぶために来館します。その準備のために7月31日(金)に江田島市社会福祉協議会、宮ノ原隣保館、宮ノ原自治会、民生委員児童委員、女性会、長寿会などの方が集まり協議を行いました。宮ノ原地区の福祉について学びたいということでしたが、嬉しく思いました。



りんぽかんへ聞きたいこと

こうざもうしこみ かいかんりようしんせい そうだん
講座申込・会館利用申請・相談について・その他(該当するものに○をしてください。)

なまえ
名前

TEL

しつもん
ご質問など